

学校名 川口市立里小学校
所在地 川口市里645番地1
電話 048-281-6120

1 本校の概要

昭和43年4月に鳩ヶ谷市立里小学校として開校、今年度で開校53年目となる。中庭には竹林がある他、校庭はその全面が芝生化されており、また、敷地内にはキウイフルーツや夏みかん、びわや梅の木などが植樹され、自然豊かな環境が特徴の学校である。学校図書館は、「本は心の栄養だ」をスローガンとして、学校図書館司書や図書ボランティアの協力のもと運営されている。

2 本校の実践

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

「手洗いの奨励」や「換気の徹底」、「共用部分の定期消毒」や「ソーシャルディスタンスの確保」といった基本的な感染症対策に加えて、以下を実施した。

ア 返却本の留め置き

市立図書館の基準を準用し、返却本については3日間の留め置きを実施した。加えて、対面での返却を避けられるよう「返却ボックス」を設置するとともに、「留め置き後の本の消毒」をすることで、児童が安心して本を借りることができる環境を整えた。

イ パーテーションの設置

座席を間引くと利用可能児童数が大幅に減少するため、それに替わる対策として全テーブルにパーテーションを設置した。このことに伴い、利用可能な児童数を大幅に減らすことなく、安心して学校図書館を利用できるようにした。



(2) 校内放送を活用した読み聞かせ・本の紹介

「3密」や飛沫を浴びることを防ぐため、教室での読み聞かせは見合わせ、代わりに毎週金曜日を「読書活動推進のための校内放送の日」とした。昼の校内放送の中で図書主任・学校図書館司書が読み聞かせや本の紹介を行った。



(3) どんどん読書

ステイホーム期間が読書を通じて充実したものになるよう、学年ごとに目標冊数、ページ数を設定した。目標達成者を毎月図書委員が昼の校内放送で発表することで、児童の読書意欲を喚起した。



(4) 学校図書館司書によるオリエンテーション・授業参加

1年生の「としょかんへいこう」や2年生の「せかいーの話」などの単元で、学校図書館司書が授業に参加し、オリエンテーションや読み聞かせを行った。なお、オリエンテーションでは、コロナ禍における学校図書館利用上の注意点なども合わせて説明を行った。

(5) 学校図書館だよりの発行

新たに購入、配架された本や図書委員会の活動、図書ボランティアの紹介など、里小学校図書館に関することを掲載している。児童の読書意欲を高めることに留まらず、保護者や地域の方に広く、本校の学校図書館の活動内容を周知することができている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

文部科学省より発出された「新しい学校での生活様式」に基づき、パーテーションを設置するなどして、コロナ禍での環境整備を行った。加えて、読み聞かせを校内放送で実施するなどしたことで、「感染症拡大予防」と「読書活動の推進」が一定程度、両立できた。

(2) 課題

GIGAスクール化も踏まえて、「情報」機能を備えた学校図書館へと変われるよう環境整備が急務である。また、感染症の終息と合わせて「ビブリオバトル」や「ブックトーク」など、アウトプットを一連の流れとした読書活動が実施できるよう計画を行い、「表現力」や「聞く姿勢」の向上、「相互理解」にもつながる発展的な読書活動の推進に取り組みたい。

(3) おわりに

コロナ禍だからこそ、本校の学校図書館に代々受け継がれてきた「本は心の栄養だ」というスローガンの意味を噛みしめ、児童の心に栄養を行き渡らせることのできる学校図書館運営に邁進したい。